

平成27年度後期全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成27年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成27年度後期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の2とおりの方法により実施された。

- a. 総合人間科学系所属の各教員が担当する授業について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識があった（5択）
2. あなたの、この授業への出席率は高かった（5択）
3. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた（5択）
4. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした（予習・復習等）（6択）
※4.の選択肢（週4時間以上、週3～4時間、週2～3時間、週1～2時間、週1時間未満、全くしない）
5. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた（5択）
6. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった（5択）
7. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた（5択）
8. 教員は、シラバスの各項目に沿って授業をした（5択）
9. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した（シラバスでの参考文献の提示等）（5択）
10. 教員は、学生の理解度（小テスト、リアクションペーパー、口頭など）を確認しながら進めた（5択）
11. この授業では、授業の大切なポイントが示され、授業の目標に到達することができた（5択）
12. この授業に満足している（5択）
13. この授業について、改善すべきと思う事、教員が工夫をしていると思う事、その他、意見、要望等が
ありましたら、書いてください（自由記述）

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。（用紙を使ったアンケートの結果についても、ウェブに取込して集計されている。）

1. 全体に関する結果

期末アンケートの講義科目、演習科目、外国語科目の集計結果は、図1～3の通り。それぞれの回答者数/受講登録者数は、4939/10899、294/699、4813/6359であり、率にして45%、42%、外国語科目は76%で、昨年度後期期末結果38%より大幅に増加している。出席率の問2の値が、前期期末の4.5、4.7、4.4から4.4、4.6、4.3へとわずかに減少している以外は、他のすべての質問項目において、わずかではあるが前期と同等以上の値である。

図1【講義科目】

「授業改善アンケート」学部別集計表							
対象部局： 共通教育（全学教育機構）							
開講年度： 平成27年度		対象期間： 後期		授業種別： 講義			
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識があった	382	1337	1450	1281	482	
2	あなたの、この授業への出席率は高かった		2575		1749	496	40
3	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた	1007	2583		1053	2150	
4	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした	60	344	984	2070	1356	
5	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた		1979		2385	460	19
6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった		1769		2160	679	210
7	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた		1700		2073	795	2502
8	教員はシブパスの各項目に沿って授業をした		1643		2371	807	40
9	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した		1230		2141	1229	2268
10	教員は、学生の理解度（小テスト、リアクションペーパー、口頭など）を確認しながら進めた		1370		2043	1094	2852
11	この授業では、授業の大切なポイントが示され、授業の目標に到達することができた		1205		2606	878	1563
12	この授業に満足している		1563		2374	699	716

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらともいえない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

※4.の選択肢のみ 青：週4時間以上、水色：週3～4時間、緑：週2～3時間、ピンク：週1～2時間、赤：週1時間未満、黄色：全くしない

図2【演習科目】

「授業改善アンケート」学部別集計表							
対象部局： 共通教育（全学教育機構）							
開講年度： 平成27年度		対象期間： 後期		授業種別： 演習			
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識があった	20	77	93	68	40	
2	あなたの、この授業への出席率は高かった	204	70	20	3		
3	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた	131	146	18			
4	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした	15	22	52	95	96	17
5	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた	148	138	10			
6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった	152	110	29	6		
7	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた	123	110	54	9		
8	教員はシラバスの各項目に沿って授業をした	126	123	44	3		
9	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した	110	122	60	5		
10	教員は、学生の理解度（小テスト、リアクションペーパー、口頭など）を確認しながら進めた	95	130	62	5	5	
11	この授業では、授業の大切なポイントが示され、授業の目標に到達することができた	107	150	38			
12	この授業に満足している	150	123	16	6		

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

※4.の選択肢のみ 青：週4時間以上、水色：週3～4時間、緑：週2～3時間、ピンク：週1～2時間、赤：週1時間未満、黄色：全くしない

図3【外国語科目】

「授業改善アンケート」学部別集計表							
対象部局： 共通教育（全学教育機構）		開講年度： 平成27年度		対象期間： 後期		授業種別： 外国語	
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識があった	478	2189	1438	554	148	
2	あなたの、この授業への出席率は高かった		2309	1666	597	208	
3	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた	1146	2747	745	119		
4	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした	411	1568	2164	509		
5	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた	2095	2331	331			
6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった	1937	2183	540	101		
7	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた	1659	2189	781	137		
8	教員はシラバスの各項目に沿って授業をした	1519	2342	851	24		
9	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した	1492	2291	874	131		
10	教員は、学生の理解度（小テスト、リアクションペーパー、口頭など）を確認しながら進めた	1737	2288	641	100		
11	この授業では、授業の大切なポイントが示され、授業の目標に到達することができた	1304	2661	701	127		
12	この授業に満足している	1633	2415	579	142		

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

※4.の選択肢のみ 青：週4時間以上、水色：週3～4時間、緑：週2～3時間、ピンク：週1～2時間、赤：週1時間未満、黄色：全くしない

2. 教養科目

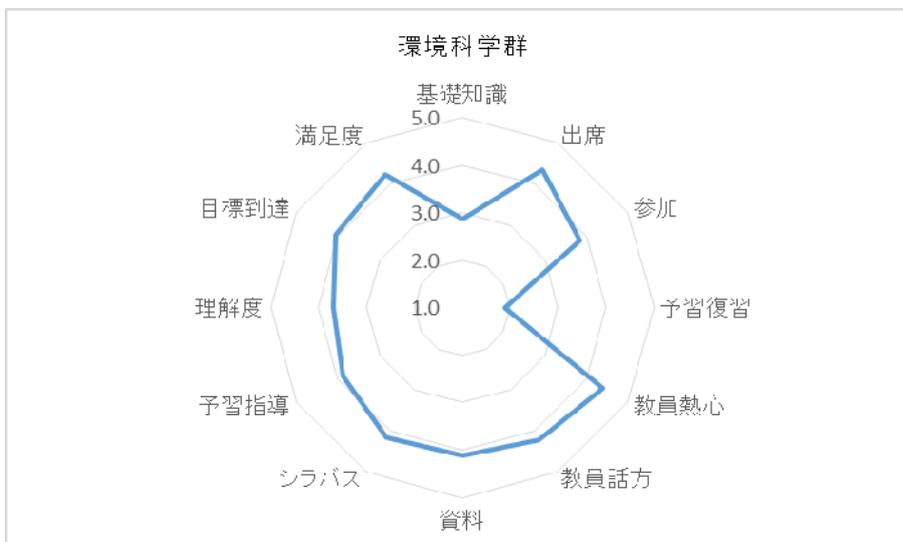
[教養ゼミナール群]

演習科目が他科目と目立った違いを示している点は、予習復習をしているという学生の自覚が高いことである。同じ演習的性格のある外国語科目と比べてみても、予習復習指導の値は4.1と同じであるが、学生の予習復習は外国語が2.5であるのに対して、3.1とかなり高い値である。予習復習値の高さと関連していると思われるが、目標到達度、満足度の値も、大体、体育実技に次ぐ値である。



[環境科学群]

環境科学講義科目はすべての科目の平均的な傾向にほぼ一致している。授業の受講者数と満足度との間には明瞭な相関関係は認められないが、大人数授業でありながらかなり高い満足度を得ている場合があり、授業においてよい工夫がなされていることがうかがわれる。教員による予習・復習指導のポイントと、学生の満足度のポイントの間には相関が認められ、教員による予習・復習指導の重要性を読み取ることができる。また、教員による予習・復習指導のポイントと、学生が実際に行った予習・復習のポイントがともに高い例が見受けられ、授業に関する工夫を読み取ることができる。



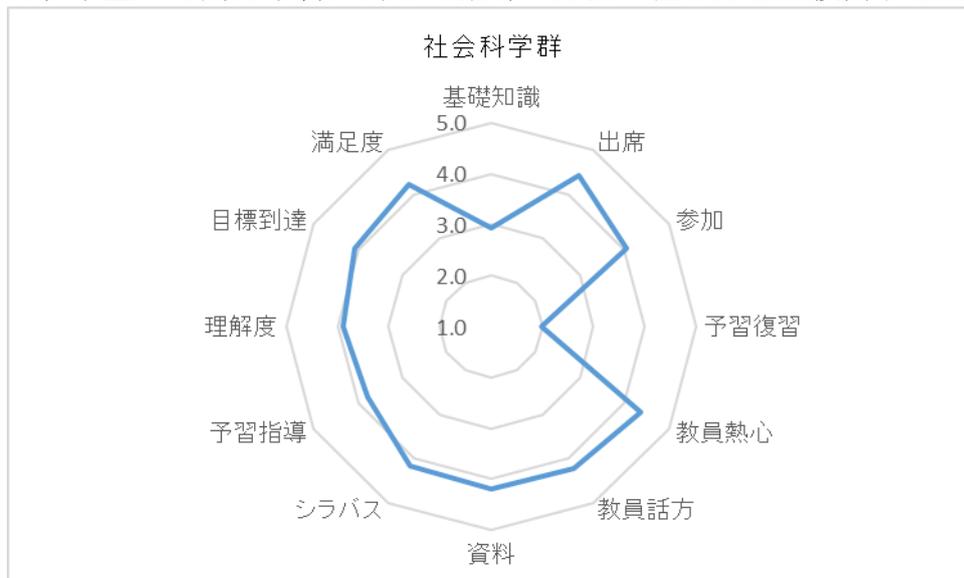
[人文科学群]

当該科目群の[講義]科目の総平均値は 3.80 で、講義全体の総平均値 (3.80) と同水準である。他方、教員による予習指導 (3.90) の取り組みに対して、学生による予習復習 (1.95) の状況は看過できない。この傾向は当該科目群のみならず講義全体共通するものであり、抜本的な対応策を講じる必要がある。アクティブ・ラーニングの重要性が指摘される今日、基礎知識 (2.77) の欄と並行して検討を要すると言えよう。



[社会科学群]

当該科目群の[講義]科目の総平均値は 3.85 で、講義全体の総平均値 (3.80) をやや上回っているが、相対的には大きな差はないとみてよい。他方で、「予習復習」の項目が 1.99 となっており、当該欄が全体の平均値を下げる結果となっている。これについては全科目群共通した課題であるといえ、予習復習の重要性を具体的に喚起することだけでなく、学生の時間外学習に対して指導の方法の在り方を再検討する必要がある。



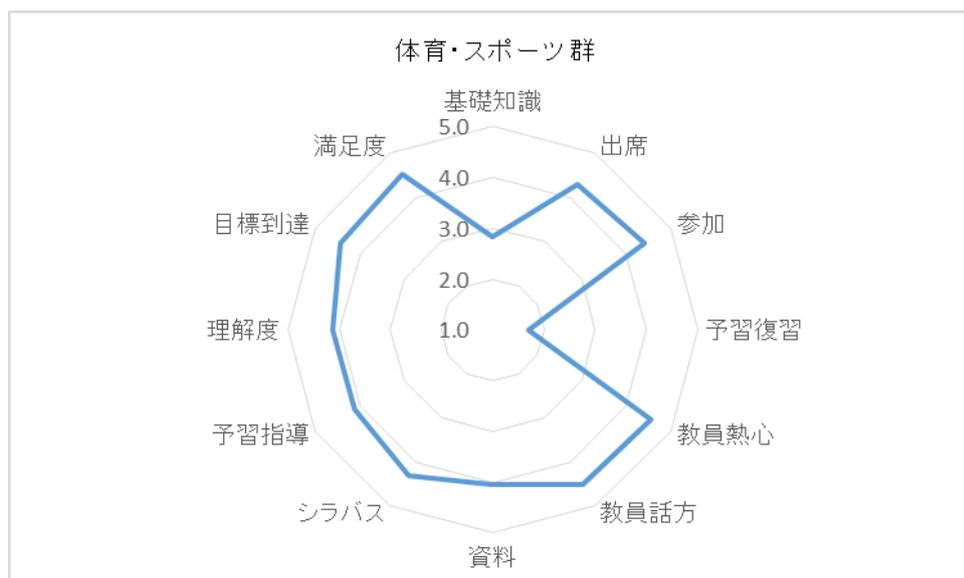
[自然科学群]

自然科学群講義科目では、傾向はすべての科目の平均的な傾向とほぼ一致している。学生に満足度と、教員による予習・復習に関する指導のポイントとの間には相関が認められる。また、理解度の確認に関するポイントと、学生の満足度のポイントとの相関も明らかである。教員による予習・復習の指導と、理解度の確認は、学生満足度の向上のために重要である。なお、受講者数の多少は、満足度に影響を与えていない。



[体育・スポーツ群]

設問 4 の学生の予習・復習の値が低いのは科目の性格上当然のことであろう。それにもかかわらず設問 11, 12 目標到達度, 満足度の値が高いことに教員の努力がうかがえる結果となっていると思われる。回答率が 68%と比較的高いが、回答者数が 145 と低いことからきめの細かい体育スポーツ指導が行われているのであろうと推察される。



3. 外国語科目

[英語]

英語 1 年次総括

授業改善アンケート回答者数 3,399 名(受講対象者数 3,897 名)の総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.3)・熱心度(4.0))は例年並みに非常に高い。そして 2. 英語 1 年次担当教員に対する評価および講義への評価も昨年同様に高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.4))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.3)・資料の見やすさ(4.1))。その結果、英語科目(英語 1 年次)に対して、受講者は概ね満足しているようである(満足度(4.2))。

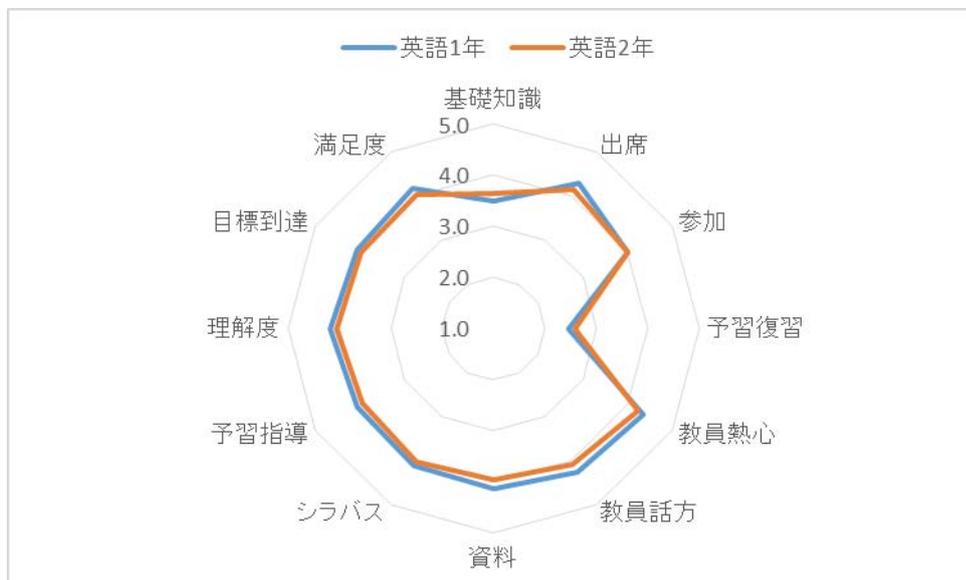
しかし、学生の予習復習については、2.4 と非常に低く、受講者が英語科目に対し予習・復習をあまり行わずに取り組んでいることが明らかである。

英語 2 年次総括

授業改善アンケート回答者数 965 名(受講対象者数 1,827 名)の総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.1)・熱心度(4.0))はやや高い。そして 2. 英語 2 年次担当教員に対する評価および講義への評価も高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.2))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.1)・資料の見やすさ(4.0))。英語科目(英語 2 年次)に対しての満足度もやや高く(満足度(4.0))、講義自体には概ね満足しているようである。

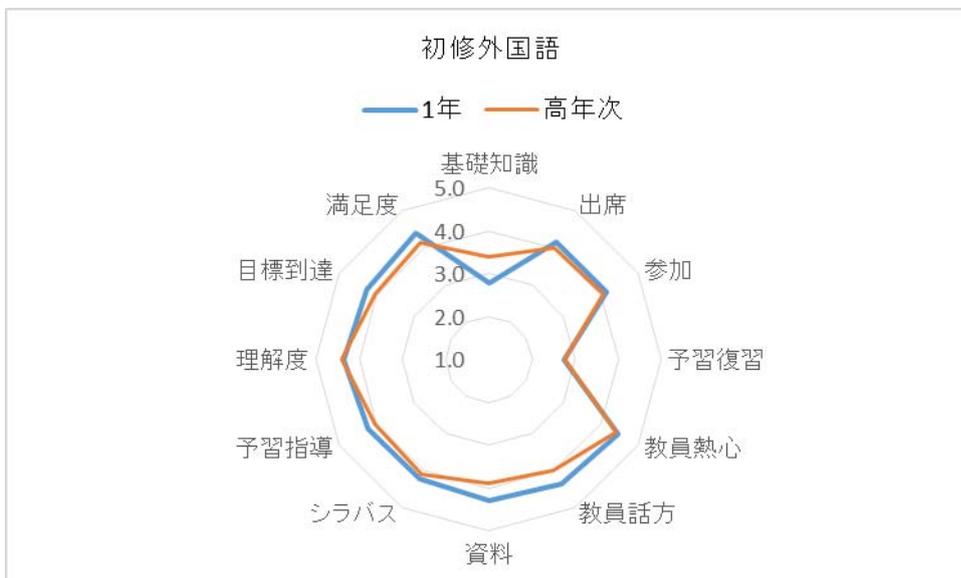
しかし、1 年次英語同様に、予習・復習については 2.6 と低く、2 年次受講者も英語科目に対して予習・復習は行っていないようである。



【初修外国語】

予習復習の値が 2.7 と他教科より高めの値を示しているが、同じ演習的性格の教養ゼミナール群よりは低い。大学で初めて習う科目である初修外国語の設問 1 の数字(2.8)が低いのは当然であるとしても、科目の特徴から言っても必要であると思われる予習・復習の点が 2 点台であるのは問題である。

設問 5～12 の授業への評価はいずれも 4 点台で、学生の満足が得られる授業が行われていると思われる。



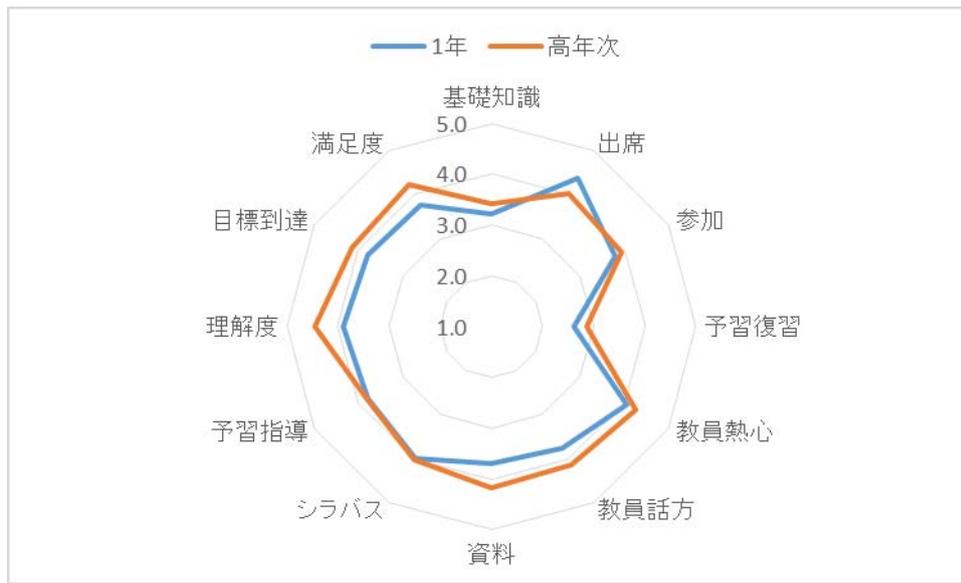
4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目は、学部、学科などにより、それぞれ独自の内容、形態で実施される科目であり、全体の傾向を議論することは難しい。加えて後期はアンケートの回答者数 (17 名)、回答率 (10%) が低くなる傾向が顕著であり、結果の解釈には注意を要する。出てきた数字だけを見れば、他の演習型の授業と比較して、学生側の授業時間外の努力 (予習復習) の数値が若干高く、最終的な満足度が相対的に低くなっている。必修の活動であるため、課題には熱心に取り組まざるを得ず、また自らの興味で選択する教養ゼミナールの授業に比れば満足度は低下するということであろう。



5. 基礎科学科目

他の講義科目と比べると、学生の授業時間外の努力（予習復習）が比較的多い一方で、最終的な目標到達度、満足度が低くなっている。科目の性格上、修得が難しく達成感、満足感が得にくいという事情があるものと思われるが、同時に、教員側の幾つかの項目（熱心度、話し方、資料の見易さ）が低く評価されている点には注意が必要である。高年次の授業における学生の予復習及び教員による理解度の確認の数値が高く出ている点は特筆に値する。



6. まとめ

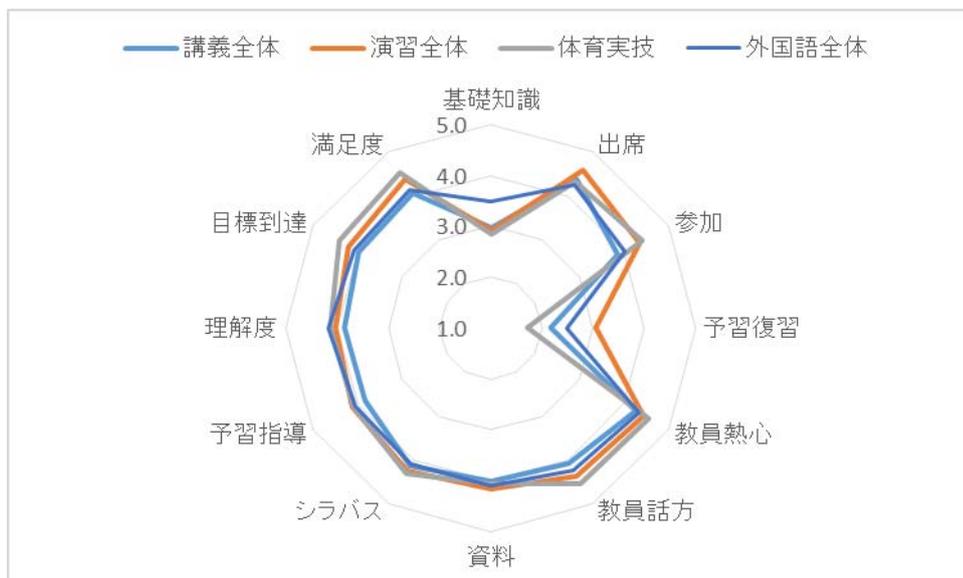
以上の結果は、アンケート対象授業を科目群に分けて、評価分析室機構分室委員によって分析したものである。今年度新たに設けた設問1の学生の基礎知識は、大学の授業内容が高校までの学習内容の単なる延長ではないことから、低い値になるのは当然であろう。それでも前期より演習科目と外国語科目においてわずかに増加している。設問4の予習復習は、講義科目、演習科目、外国語科目で前期から後期へ、それぞれ、2.2-2.2、2.6-3.1、2.6-2.5の値で、演習科目における増加が顕著である。同じ演習的性格のある外国語の値が、わずかではあるが減っているのは問題であろう。

設問5から12の授業評価に関しては、教員の熱心度・話し方、資料の見やすさ、シラバスに沿った授業、目標到達度、満足度が前期と大体同じで、予習復習指導は、講義科目、演習科目、外国語科目で前期から後期へ、それぞれ、3.7-3.8、3.9-4.1、4.0-4.1の値で0.1~0.2ポイント増加している。

アンケート結果に基づいて、各部門から以下の意見が出された。

環境マインド教育部門からは、大人数授業において高い満足度を得ているものがあるという結果報告がなされる一方で、予習復習指導の値が低いことが検討課題であるという評価がなされた。人文・社会科学教育部門からは、満足度の低い授業が少しあり、改善が必要ではないかという指摘がなされている。自然科学教育部門からは、満足度は良好である

が、毎週の課題・小テストを行っても予習・復習が不十分であること、学力格差の拡大があるかもしれないという指摘がなされた。外国語教育部門からは、授業内で問題を解かせ、考える時間を与えるような演習の必要性、スライドや視聴覚教材内容の改善と言った具体的授業内容に関する提案が多くなされた。健康科学教育部門からは、授業評価は概ね高い値であるが、授業の特性上予習復習の値が低くなるという科目の特性を踏まえて、時間外学習の成績への取り込み、スライドなどの資料を使っての基礎知識の習得を狙った授業の工夫などの案が提出された。



集計区分	受講登録者数(人)	回答者数(人)	回答率	設問1 学生の基礎知識	設問2 学生の出席率	設問3 学生の熱心度	設問4 学生の予習復習	設問5 教員の熱心度	設問6 教員の話方	設問7 資料の見易さ	設問8 クラスに沿った授業	設問9 予習・復習指導	設問10 理解度の確認	設問11 目標到達度	設問12 満足度	
教養ゼミナール群	演習	525	277	53%	2.9	4.6	4.3	3.0	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0	4.2	4.4	
環境科学群	講義	1784	912	51%	2.9	4.3	3.8	1.9	4.4	4.2	4.1	4.2	3.9	3.7	4.1	4.2
人文科学群	講義	1933	787	41%	2.8	4.4	4.0	2.0	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.0	4.2
社会科学群	講義	3080	859	28%	2.9	4.4	4.0	2.0	4.4	4.2	4.2	4.2	3.8	3.9	4.1	4.2
自然科学群	講義	1332	722	54%	2.8	4.4	3.8	2.0	4.3	4.3	4.3	4.3	3.9	4.0	4.1	4.2
体育・スポーツ群	体育実技	213	145	68%	2.8	4.3	4.4	1.7	4.6	4.5	4.1	4.3	4.1	4.1	4.4	4.5
外国語	英語1年	3897	3399	87%	3.5	4.3	4.0	2.4	4.4	4.3	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2
	英語2年	1827	965	53%	3.6	4.1	4.0	2.6	4.2	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
	初修外国語	505	350	69%	2.8	4.2	4.2	2.7	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.4	4.3	4.4
	初修外国語(高年次)	130	99	76%	3.4	4.0	4.1	2.7	4.4	4.0	3.9	4.1	4.1	4.4	4.0	4.2
新入生ゼミナール科目	演習	174	17	10%	3.2	4.4	4.5	3.4	4.1	4.4	4.1	4.2	4.1	3.9	4.0	4.1
基礎科学科目	講義	2699	1629	60%	3.2	4.4	3.8	2.6	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.9	3.8	3.8
	講義(高年次)	71	30	42%	3.4	4.0	3.9	2.9	4.3	4.1	4.2	4.0	3.8	4.4	4.1	4.2
講義全体	10899	4939	45%	3.0	4.4	3.9	2.2	4.3	4.1	4.0	4.1	3.8	3.9	4.0	4.1	
演習全体	699	294	42%	2.9	4.6	4.4	3.1	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2	4.4	
外国語全体	6359	4813	76%	3.5	4.3	4.0	2.5	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	
体育実技	213	145	68%	2.8	4.3	4.4	1.7	4.6	4.5	4.1	4.3	4.1	4.1	4.4	4.5	